【改正倫理指針対応】公開文書
承認番号：24-12-21

人を対象とする医学系研究に関する情報公開

このたび，宮城厚生協会坂総合病院倫理委員会の承認を得て、下記の人を対象とする医学系研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2024 年 12 月 19 日
施設名：宮城厚生協会　坂総合病院
代表者氏名：病院長　冨山　陽介

【研究課題名】
職員健診の残余検体を利用した病棟職員の RS ウイルス抗体価に関する検討

【研究期間】
倫理委員会承認後　～　2025 年 6 月 30 日

【試料・情報の利用目的・方法】
＜目的＞
2024年秋および 2025 年 1 月に当院9階病棟・3 階病棟で RS ウイルス感染症が多発（持ち込み感染＋院内伝播の混在）し、職員の感染例も発生した。本件に関連した疫学的分析のひとつとして職員健診の残余血清を用いて RS ウイルス抗体価を検討する。

＜方法＞
職員健診時、研究対象者の血液検査の検体番号と採取日のみを記載した残余検体を仙台医療センターウイルスセンターに物流便を用いて送り、RS ウイルス抗体価の解析を行う。その結果を元に当院にて疫学的分析を行う。

【研究対象者】
① 坂総合病院9階病棟（呼吸器科病棟）所属の看護師、医師、事務、リハビリ担当者約40名
② 坂総合病院 3 階病棟（リハビリテーション科病棟）所属の看護師、医師、事務、リハビリ担当者約33名

【研究に用いる試料・情報】
＜基本情報＞氏名、性別、職種
＜サーベイランス情報＞RS ウイルス曝露歴、採取日、抗体価

【本研究に関する問い合わせ先】
本研究に関する質問等ありましたら、研究代表者までお申し付けください。
ご希望があれば他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障のない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので、お申し出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、ご了承いただけない場合は研究の対象にいたしませんので、最寄りの研究者までお申し出下さい。
（拒否することで不利益が生じることはありません。）

〇研究代表施設・研究代表者
　公益財団法人宮城厚生協会坂総合病院　呼吸器科　高橋洋

〇研究分担者
　生方　智、神宮大輔、矢島剛洋、佐藤幸佑、小室英恵

試料・情報を当該研究に用いられることについて拒否する場合は上記のいずれかの研究者までお申し出ください。